

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築計画 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	岩田 明士			実務経験	有	職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
アトリエ事務所勤務、住宅、美術館、学校など幅広く設計の実務を経験後、独立し設計事務所を運営する。 独立後は住宅建築を中心に医院建築などの設計監理業務を20年ほど行う。 資格：一級建築士、福祉住環境コーディネーター2級											
授業概要											
建築物を作り上げるプロセスには様々な職能が関わり創られていく。建築計画はその中心をなすものの一つではあるがそれだけでは成り立たない。構造計画、設備計画、施工技術などがあって初めて成り立つ。そこでこの科目は、学生が企画設計・基本設計で重要となる建築計画の基礎知識を学ぶと同時に、構造計画や設備計画などその他の科目とのつながりの重要性を充分理解しながら、設計製図の科目並びに、2級建築士程度の知識を学ぶのが目的である。											
到達目標											
この科目では、公共建築物の実例を紹介しながら歴史的変遷や有名建築を学び、学生が、建築空間や構成の面白さ味わってもらうことを第一目標としている。また、建築計画2より特殊性の高い施設の学習をすることで、利用者と管理運営者の立場の違いやゾーニング・動線計画・機能・各部門の繋がりなどの応用知識を身に付けてもらうことがねらいである。そして学生が、2級建築士程度の知識が備わることが目標である。											
授業方法											
この授業では、考える力を育てるためにアクティブラーニングを採り入れる。ひとつしか解のない数学と違って、建築は施主・設計者によって解が変わる。そこで、他人と意見交換し情報を共有しながら、解を導き出すまでの過程を学んでいく。考えることを意識し能動的な学習を通じて、学生の「積極性・協調性」を育成する。											
成績評価方法											
試験	50%	試験を総合的に評価する									
小テスト、レポート	25%	授業内容の理解度を確認するために実施する（レポートを含む）									
平常点	25%	授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・教室を綺麗に整理整頓し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。											
教科書教材											
初学者の建築講座-建築計画（第3版）／資料配布											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス：建築計画と構造計画・設備計画										
第2回	病院建築の変遷・計画・実例紹介／確認テスト										
第3回	高齢者施設の変遷・計画・実例紹介／確認テスト										
第4回	事務所の変遷・計画・実例紹介										
第5回	事務所の変遷・計画・実例紹介／確認テスト										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築計画 3	
第6回	劇場・音楽ホールの変遷、計画、実例紹介
第7回	劇場・音楽ホールの変遷、計画、実例紹介／確認テスト
第8回	百貨店・スーパーマーケットの変遷、計画、実例紹介
第9回	百貨店・スーパーマーケットの変遷、計画、実例紹介／確認テスト
第10回	宿泊施設の変遷、計画、実例紹介
第11回	宿泊施設の変遷、計画、実例紹介／確認テスト
第12回	外部空間の設計
第13回	外部空間の設計／確認テスト
第14回	駐車場の計画／確認テスト
第15回	実例建築の紹介 まとめ